

# 日本食肉加工情報

毎月1回発行

4

2025 APR.

No.898

## CONTENTS

### ●特集

食肉需給の動向について

### ●窓

第113回 日本羊腸輸入組合 理事 森嶋 隆仁 氏

(株式会社モリオ 代表取締役社長)

「日本の食卓への貢献を目指して」

### ●業界をめぐる動き

- ・「第46回食品産業優良企業等表彰式」の開催について
- ・3月役員会の開催について
- ・HACCPシステムに基づく衛生管理講習会(食肉製品)の修了報告について
- ・令和6年度 後期技能検定ハム・ソーセージ・ベーコン製造試験について
- ・令和6年度後期技能検定実技試験を終えて
- ・農林水産省 人事異動
- ・関係省庁からの情報提供などについて(会員組合員宛配信情報)
- ・新入職員
- ・訃 報

### ●ひろば

第107回 新潟大学農学部 畜産製造学研究室の紹介(2)

新潟大学農学部農学科食品科学プログラム 畜産製造学研究室 教授 西海 理之

### ●海外情報

カナダ 24年の豚肉生産量は前年比1.0%減、輸出量は増加



SPECIAL  
EDITION

## 特集

### 食肉需給の動向について

#### 1. 食肉需給の概要

##### (1) 食肉消費量の推移

我が国における1人当たりの食肉消費量は、昭和35年以降、日本人の食事内容が西洋化したことなどにより、平成10年頃まで大きく増加した。その後は、食生活の西洋化の定着、少子高齢化の進展等が相まって、おおむね横ばいで推移してきたが、近年、焼肉や牛丼、ハンバーガー等の外食を中心に食肉全体の消費量は一層拡大しており、令和5年度には、牛肉6.1kg、豚肉13.1kg、鶏肉14.4kgとなり、合計では過去最高を更新した令和4年度と同水準となる

小玉 祐二 農林水産省畜産局 食肉鶏卵課食肉需給班 需給企画係長

33.6kgと引き続き高水準となった。

特に豚肉は、価格が牛肉と比べて安価であることに加え、調理や加工向けの用途が豊富であることなどから、1人当たりの消費量は牛肉・鶏肉と比べて高い水準で推移してきた。平成に入る頃には、豚肉消費量の伸びは横ばいとなったものの、平成10年代には、国内外での牛海綿状脳症(BSE)の発生や、タイ・中国における高病原性鳥インフルエンザの発生に伴い、牛肉・鶏肉からの代替需要が生じ、再び増加傾向となった。

続きは定期購読で！

定期購読のお問い合わせ

一般社団法人日本食肉加工協会 日本ハム・ソーセージ工業協同組合 総務部

TEL : 03-3444-1211 FAX : 03-3441-8287 E-mail : ask@hamukumi.or.jp